

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料2-2

平成27年12月 日

協議会名: 岡崎市交通政策会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価	【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載	
名鉄バス(株) 額田支所市民病院線	額田支所前～市民病院	前回の事業評価では目標を達成したものの、更なる利用を図るため、地域協議会で話し合い、利用促進の検討を行った。	A	運行ルート上において交通事故による交通規制のため2便運休したものの、計画通りに実施された。	平成27年度(H27.4～H28.3)の目標利用者数8,468人に対し、利用者数見込は7,166人であり目標を達成できない見込みである。 (理由) 通院通学目的での利用者が減少したためと考えられる。 なお、H26.10～H27.9の利用者数は7,611人である。	ICカードの利用や乗継割引制度等の住民への周知や利用促進策について地域協議会に諮り、利用促進を実施する。
豊栄交通(株) 下山地区線A	桃ヶ久保～岡崎げんき館前	前回の事業評価では目標を達成したものの、更なる利用を図るため、地域協議会が主体となって以下の取組を行った。 ・下山地区線を活用し市街地で老人クラブの活動を実施 ・高校生がバスから自転車に乗り換えて学校へ通えるように市街地のバス停付近に駐輪場を設置	A	事業は計画通り実施された。	平成27年度(H27.4～H28.3)の目標利用者数4,677人に対し、利用者数見込は4,077人であり目標を達成できない見込みである。 (理由) 運行内容の変更により補助対象外である新たなシステムを設置したため、利用が分散された。 補助対象外系統の見込み人数と合わせると5,111人であり、目標を達成できる見込みである。 なお、H26.10～H27.9の利用者数は4,409人である。	路線全体の利用人数でみると目標を達成できる見込みであり、更なる利用を図るために、継続的な利用促進策について地域協議会に諮り、利用促進を実施する。
豊栄交通(株) 下山地区線B	北部診療所～岡崎げんき館前	前回の事業評価では目標を達成しなかったため、地域協議会が主体となって以下の取組を行った。 ・高齢者定期券購入費の1割を助成する制度を継続して実施 ・利用者ごとにマイ時刻表を作成し配付	A	事業は計画通り実施された。	平成27年度(H27.4～H28.3)の目標利用者数1,160人に対し、利用者数見込は875人であり目標を達成できない見込みである。 (理由) 目標利用者数設定後に運行計画を変更し運行日数を縮小したためと考えられる。 なお、H26.10～H27.9の利用者数は914人である。 また、1運行当たり輸送人員について、切山・小久田コースが0.3(人/回)、毛呂・井沢コースBが0.5(人/回)であり、1.0(人/回)を下回った。	運行計画を変更し運行日数を縮小したため、目標利用者数に達しない見込みであるが、1便あたりの平均人数は増加する見込みであり、効率的な運行を図ることができた。 目標利用者数を達成するために、形埜地区線のルート図及び時刻表を記載したコースごとのパンフレットの作成及び配布等新たな利用促進を実施する。 また、切山・小久田コース及び毛呂・井沢コースBはともに水曜日の利用が他の曜日の利用より少ないため、時間帯を変更する等より利便性のある運行内容へ見直しを図る。
株西三交通 形埜地区線 (南大須・鍛埜コース)	北部診療所～須瀨橋～北部診療所	前回の事業評価では目標を達成しなかったため、地域協議会が主体となって以下の取組を行った。 ・高齢者定期券購入費の1割を助成する制度を継続して実施 ・利用者ごとにマイ時刻表を作成し配付	A	事業は計画通り実施された。	平成27年度(H27.4～H28.3)の目標利用者数1,160人に対し、利用者数見込は875人であり目標を達成できない見込みである。 (理由) 目標利用者数設定後に運行計画を変更し運行日数を縮小したためと考えられる。 なお、H26.10～H27.9の利用者数は914人である。 また、1運行当たり輸送人員について、切山・小久田コースが0.3(人/回)、毛呂・井沢コースBが0.5(人/回)であり、1.0(人/回)を下回った。	運行計画を変更し運行日数を縮小したため、目標利用者数に達しない見込みであるが、1便あたりの平均人数は増加する見込みであり、効率的な運行を図ることができた。 目標利用者数を達成するために、形埜地区線のルート図及び時刻表を記載したコースごとのパンフレットの作成及び配布等新たな利用促進を実施する。 また、切山・小久田コース及び毛呂・井沢コースBはともに水曜日の利用が他の曜日の利用より少ないため、時間帯を変更する等より利便性のある運行内容へ見直しを図る。
株西三交通 形埜地区線 (切山・小久田コース)	上一色平～北部診療所					
株西三交通 形埜地区線 (毛呂・井沢コースA)	うつぎ～北部診療所～本郷～北部診療所					
株西三交通 形埜地区線 (毛呂・井沢コースB)	北部診療所～本郷～北部診療所～うつぎ～北部診療所					
岡東運輸(株) 宮崎地区線	宮崎小学校～ナカシバ電工前～高雲寺～木下公民館～千町上～宮崎学区市民ホーム前	前回の事業評価では目標を達成したものの、更なる利用を図るため、地域協議会が主体となって、以下の取組を行った。 ・宮崎地区線の利用を呼び掛けるチラシを作成し住民に配付	A	事業は計画通り実施された。	平成27年度(H27.4～H28.3)の目標利用者数609人に対し、利用者数見込は443人であり目標を達成できない見込みである。 (理由) 目標利用者数設定後に週5日運行を週3日運行に変更したためと考えられる。 なお、H26.10～H27.9の利用者数は443人である。	運行計画を変更し運行日数を縮小したため、目標利用者数に達しない見込みであるが、1便あたりの平均人数は増加する見込みであり、効率的な運行を図ることができた。 目標利用者数を達成するために、既存の宮崎地区線パンフレットの文字を大きくし高齢者にとって見やすい改訂版パンフレットの作成及び配布等新たな利用促進を実施する。 また、木曜日の利用が全くないため、曜日や時間帯を変更する等より利便性のある運行内容へ見直しを図る。
岡東運輸(株) 豊富・夏山地区線 (夏山・鳥川コースA)	額田支所前～平針～寺野～市道～ハズノモト～星野医院	前回の事業評価では目標を達成したものの、更なる利用を図るため、地域協議会が主体となって、以下の取組を行った。 ・ルート上のバス停のない地域に新たな需要を喚起するため、新しいバス停の設置に向け協議を実施。	A	事業は計画通り実施された。	平成27年度(H27.4～H28.3)の目標利用者数462人に対し、利用者数見込は469人であり目標を達成できる見込みである。 なお、H26.10～H27.9の利用者数は480人である。	更なる利用を図るために、継続的な利用促進策について地域協議会に諮り、利用促進を実施する。
岡東運輸(株) 豊富・夏山地区線 (夏山・鳥川コースB)	星野医院～寺野～平針～額田支所前～星野医院～ハズノモト～市道					
岡東運輸(株) 豊富・夏山地区線 (鳥川コース)	市道～ハズノモト～額田支所前～星野医院					

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成27年12月 日

協議会名:	岡崎市交通政策会議
-------	-----------

評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
----------	----------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	【基本理念】人、まち、環境きらり。岡崎の交通まちづくり 【基本目標】1 人にやさしく安全安心な交通の実現 2 観光・交流を促進し、まちの魅力を高める交通の実現 3 円滑で快適な交通の実現 4 環境にやさしい交通の実現
-----------------------------	--